

スカパーJSATグループ
2012年度 第3四半期決算説明会

2013年1月31日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティに関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料デジタル多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

連結業績ハイライト

損益概要

- 「増収減益」の基調は計画どおり
- 通期業績予想は営業収益・利益とも変更無し

連結(単位:百万円)

	FY2011 1-3Q累計	FY2012 1-3Q累計	増減率	FY2012 通期予想	通期予想 進捗率
営業収益	115,904	117,906	+1.7%	164,000	71.9%
営業利益	14,763	12,810	△13.2%	16,000	80.1%
経常利益	13,984	12,718	△9.1%	15,500	82.1%
当期純利益	7,012	7,830	+11.7%	9,000	87.0%
EBITDA*	33,247	32,578	△2.0%	-	-

* EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (支払利息) + (減価償却費)

有料多チャンネル事業の主要指標

- 加入件数は1.3万件的純減(1-3Q累計)
- プレミアムサービス加入者のハイビジョン移行は堅調

	FY2011 1-3Q累計	FY2012 1-3Q累計	FY2012 通期目標
新規加入件数	50.4 万件	45.5 万件	68.3 万件
純増数	4.9 万件	△1.3 万件	10.6 万件
累計加入件数	377.5 万件	380.1 万件	392.0 万件
加入者支払単価	3,244 円	3,218 円	-
ARPU	1,644 円	1,770 円	-
SAC (単価)	29,509 円	29,513 円	-
ハイビジョン化率*	28.1%	48.4%	54.7%

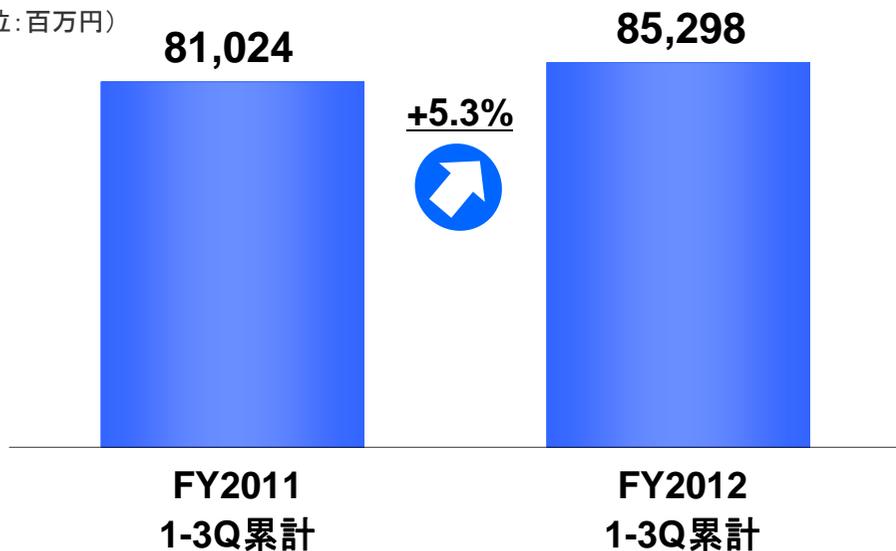
* プレミアムサービスの加入件数の内、標準画質専用チューナーの加入者を除いた加入件数の占める比率。

連結業績解説

営業収益 セグメント別の増減要因

有料多チャンネル事業

(単位:百万円)



■ 前年同四半期比 +43億円(+5.3%)*

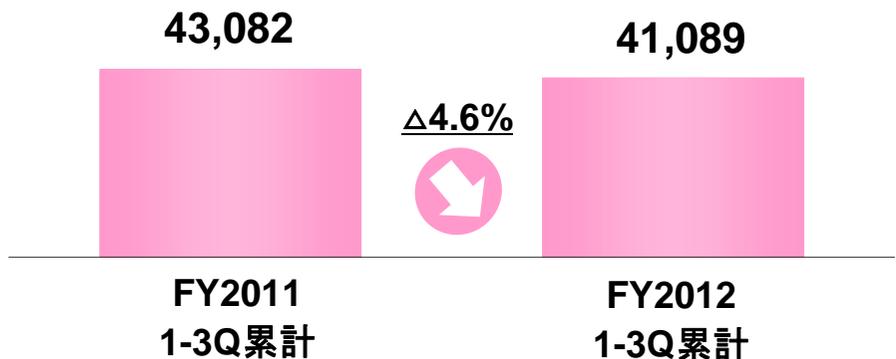
<主な増減要因>

- 視聴料収入の増加: +59億円
- 業務手数料収入の減少: △16億円
 - スカパー！（旧e2サービス）手数料収入等: +19億円
 - 標準画質サービスに係わる手数料収入: △35億円

* セグメント間内部取引を含む。

宇宙・衛星事業

(単位:百万円)



■ 前年同四半期比 △20億円(△4.6%)*

<主な増減要因>

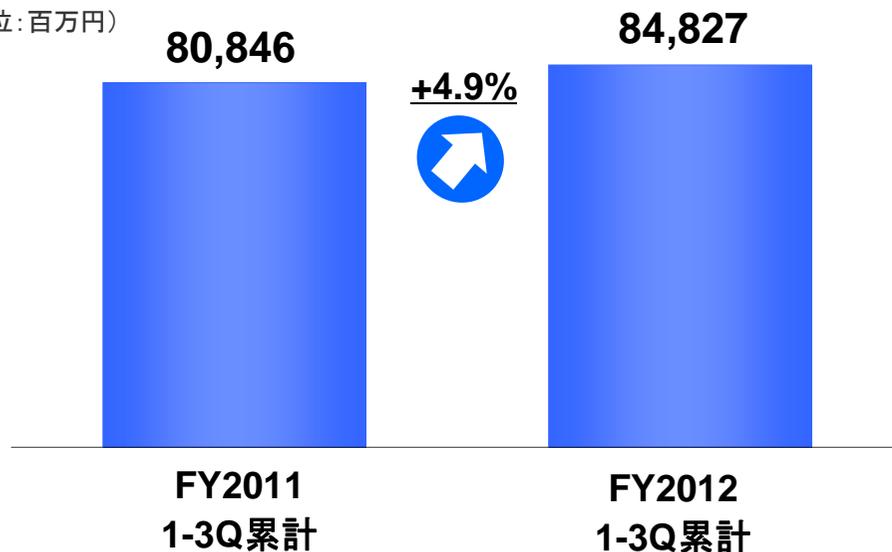
- 震災関連等の衛星事業収入の減少: △20億円
- 放送トラポン収入の減少: △5億円
- その他の収入増(移動体衛星通信サービス等): +5億円

* セグメント間内部取引を含む。

営業費用 セグメント別の増減要因

有料多チャンネル事業

(単位:百万円)



■ 前年同四半期比 +40億円(+4.9%)*

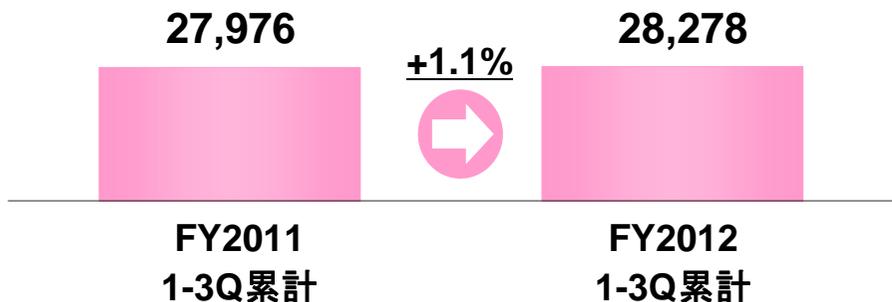
<主な増減要因>

- 番組供給料の増加: +28億円
- BS関連費用の増加: +6億円
- ハイビジョン移行施策費用の増加: +15億円
- その他: △9億円

* セグメント間内部取引を含む。

宇宙・衛星事業

(単位:百万円)



■ 前年同四半期比 +3億円(+1.1%)*

<主な増減要因>

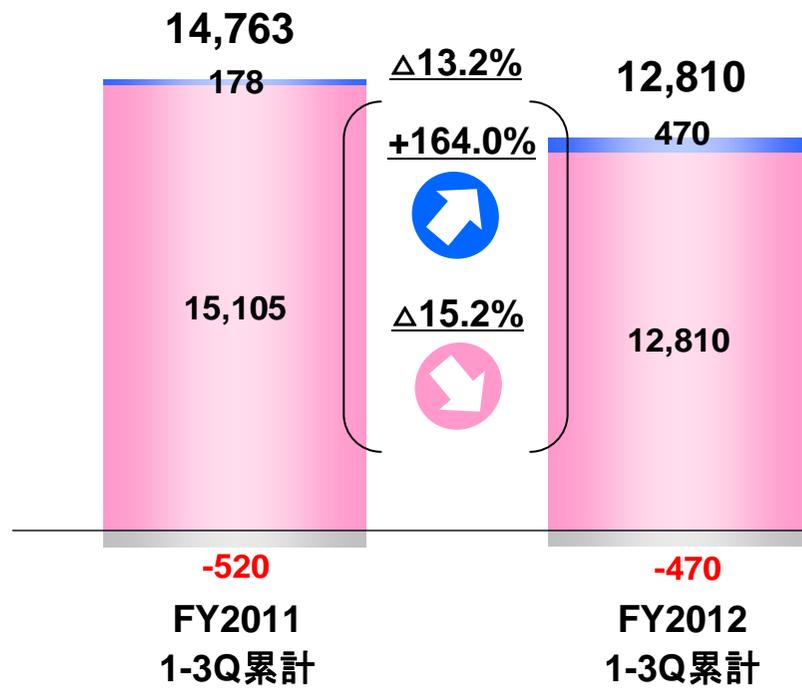
- 減価償却費の増加: +7億円
- 衛星事業原価の減少: △3億円
- その他: △1億円

* セグメント間内部取引を含む。

利益指標

営業利益

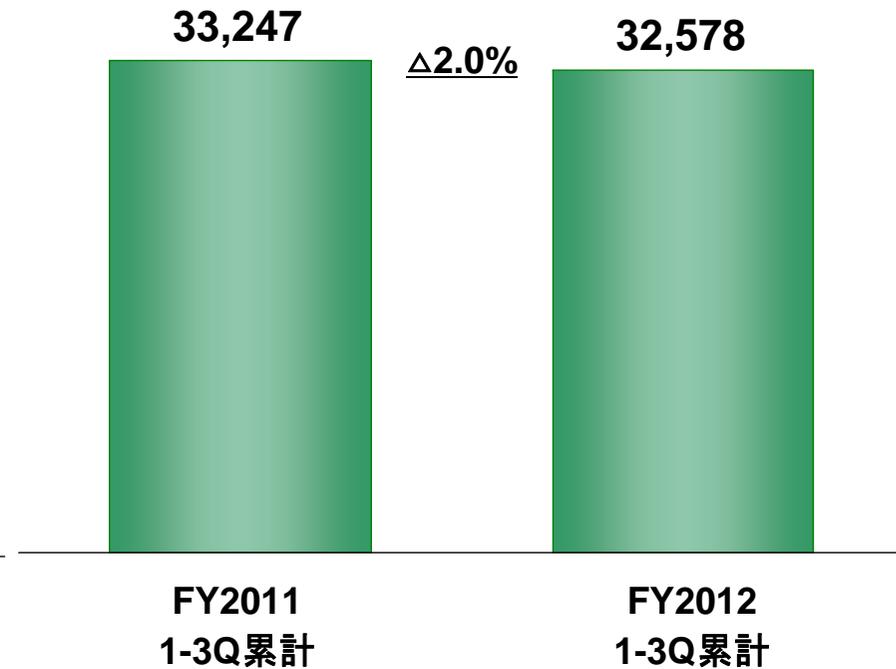
(単位:百万円)



- 有料多チャンネル事業
- 宇宙・衛星事業
- 消去又は全社

EBITDA*

(単位:百万円)

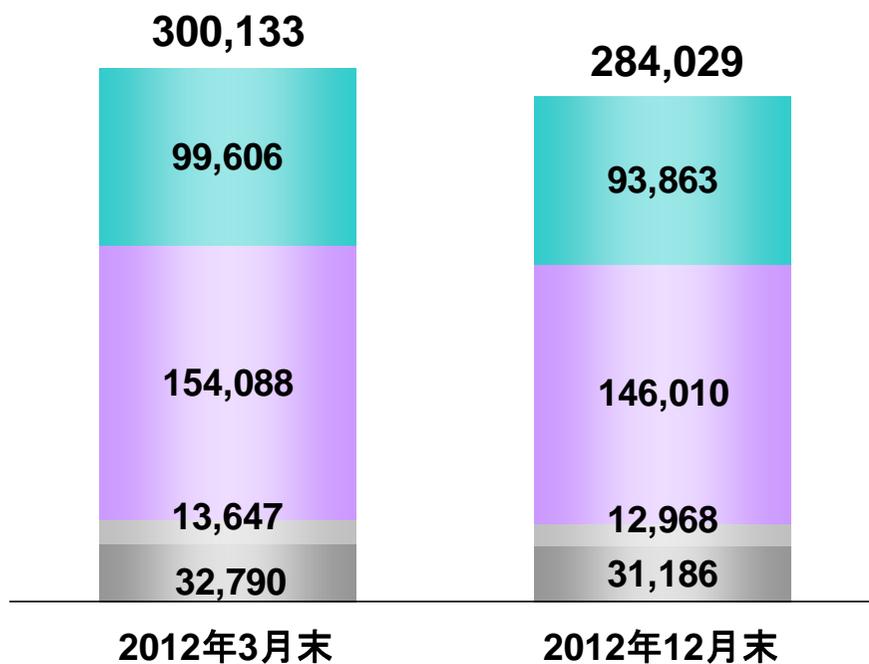


* EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (支払利息) + (減価償却費)

貸借対照表

資産

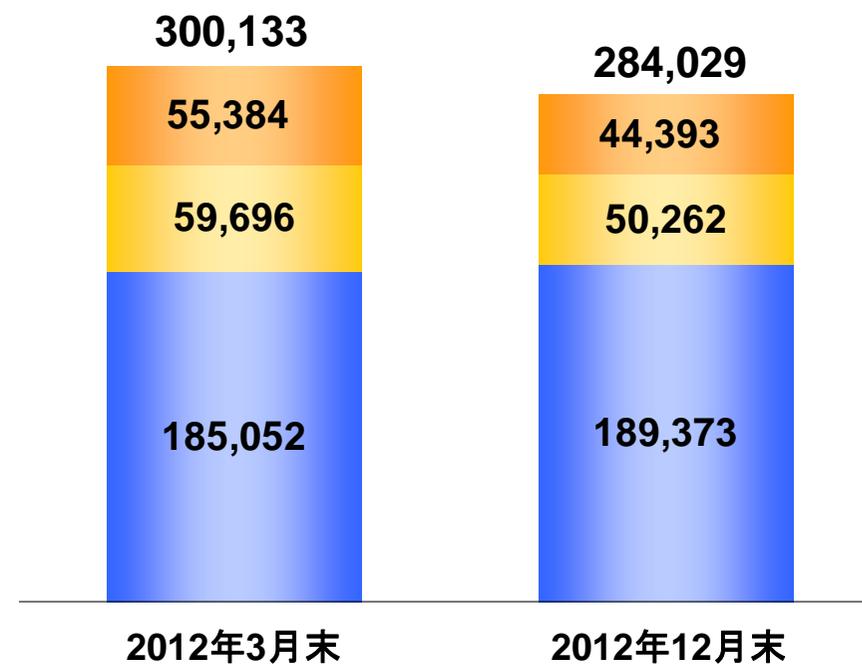
(単位:百万円)



負債・純資産

(単位:百万円)

自己資本比率:66.5%



キャッシュ・フロー

連結(単位:百万円)

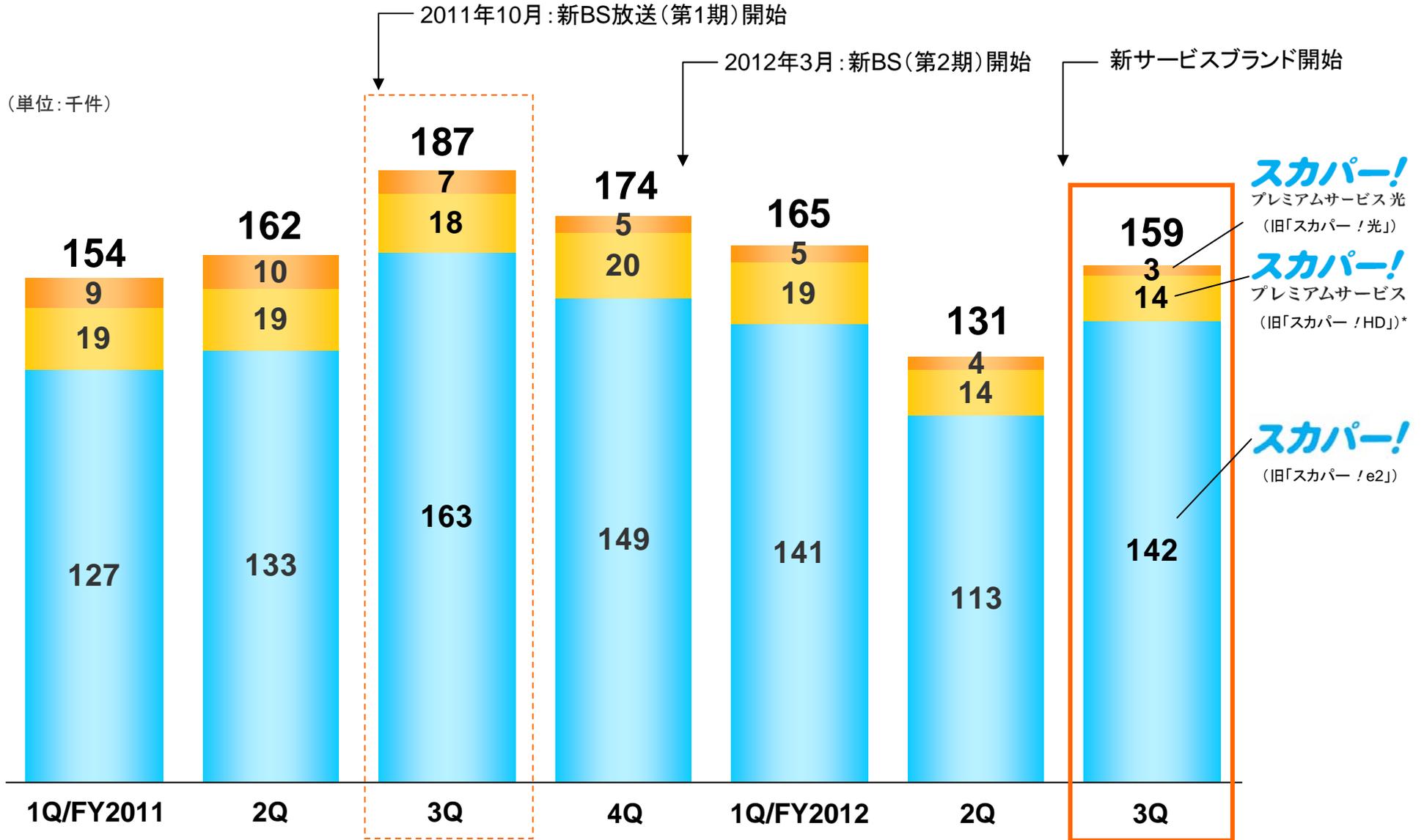
	FY2011 1-3Q累計	FY2012 1-3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,299	29,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,933	△11,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,547	△16,014
現金及び現金同等物の期末残高(a)	81,090	68,366
有利子負債期末残高*1 (b)	84,232	51,781
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	3,142	△16,585
設備・事業投資等*2	11,507	11,069
フリー・キャッシュフロー*3	20,792	17,964

*1 借入金＋無担保社債

*2 投資活動によるキャッシュフローから短期運用目的の有価証券の取得・売却・償還等の増減を除いて算出。

*3 (営業活動によるキャッシュフロー)－(設備・事業投資等)

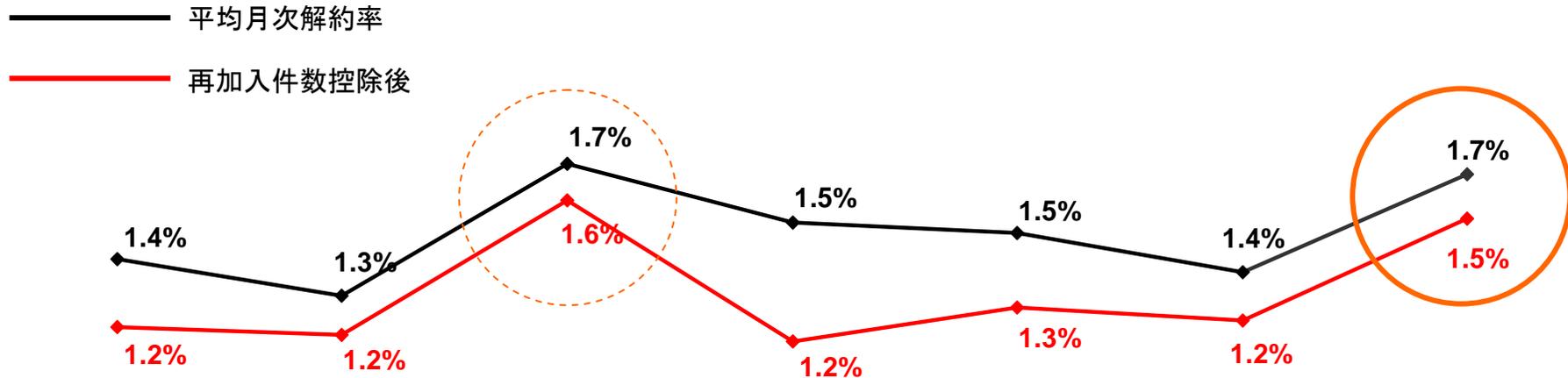
新規加入件数



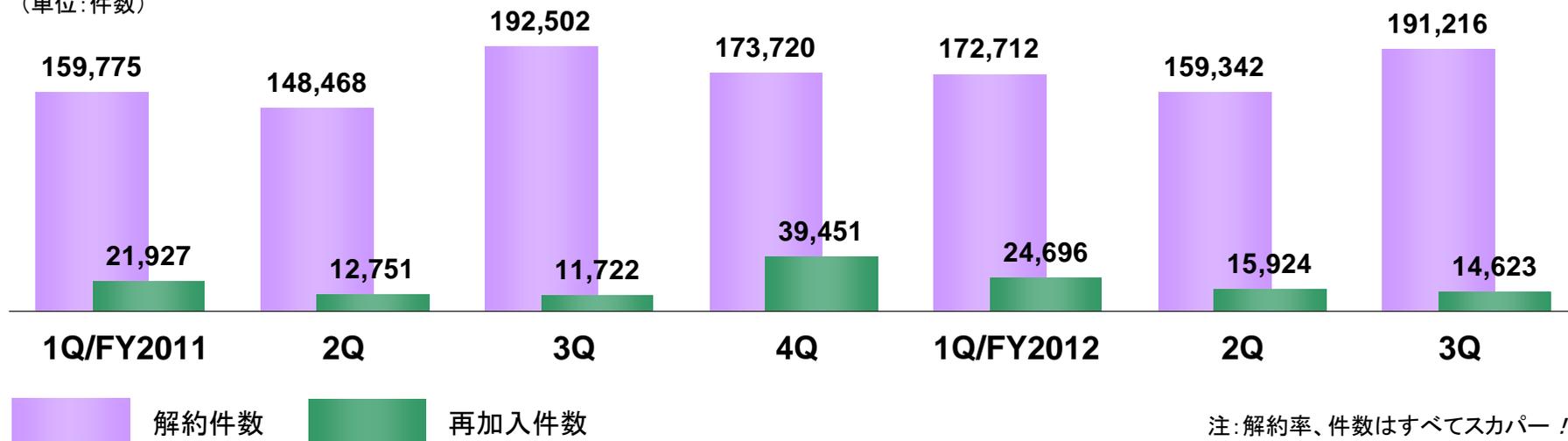
* プレミアムサービスには、標準画質専用チューナーの加入者も含まれる。

解約率

■ 当第3四半期の平均月次解約率は1.7%（再加入控除後1.5%）



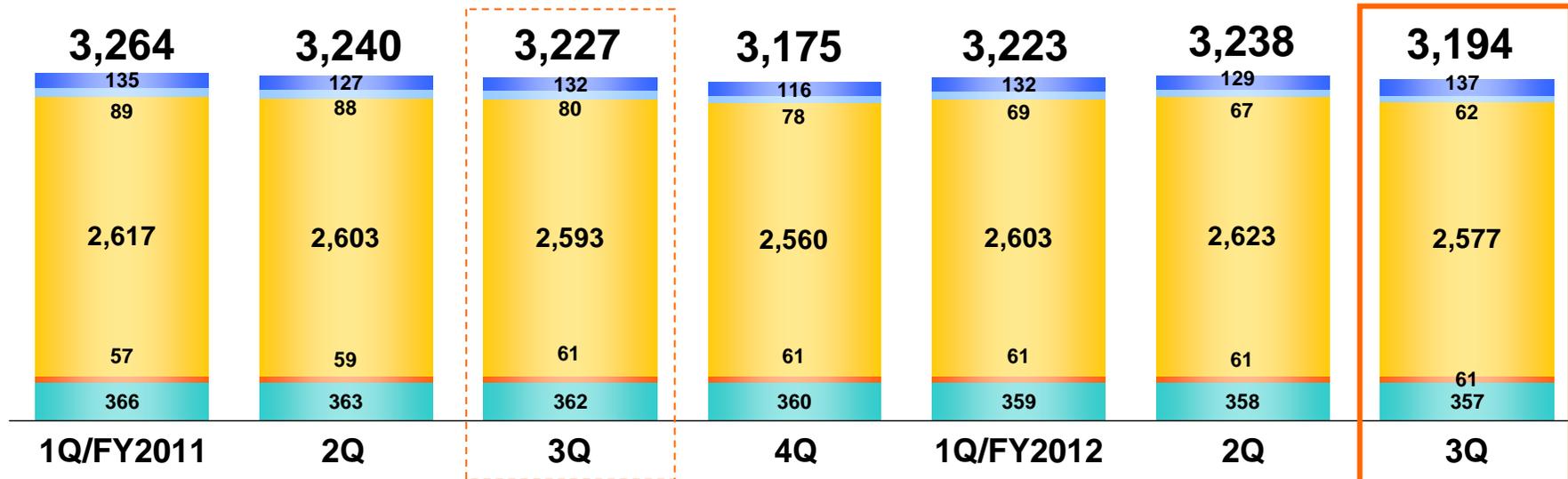
(単位: 件数)



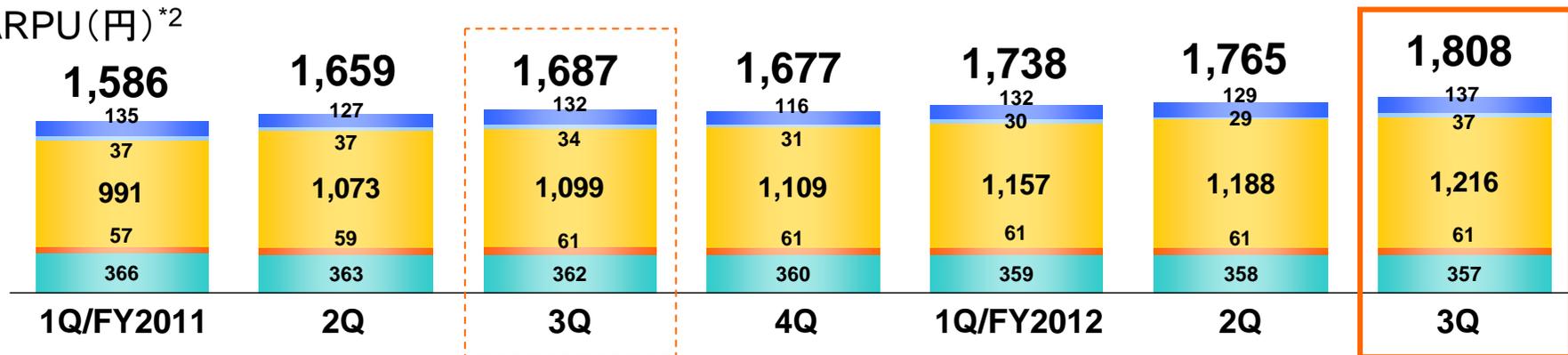
注: 解約率、件数はすべてスカパー！合計。

ARPU

■ 加入者支払単価(円)*1



■ ARPU(円)*2



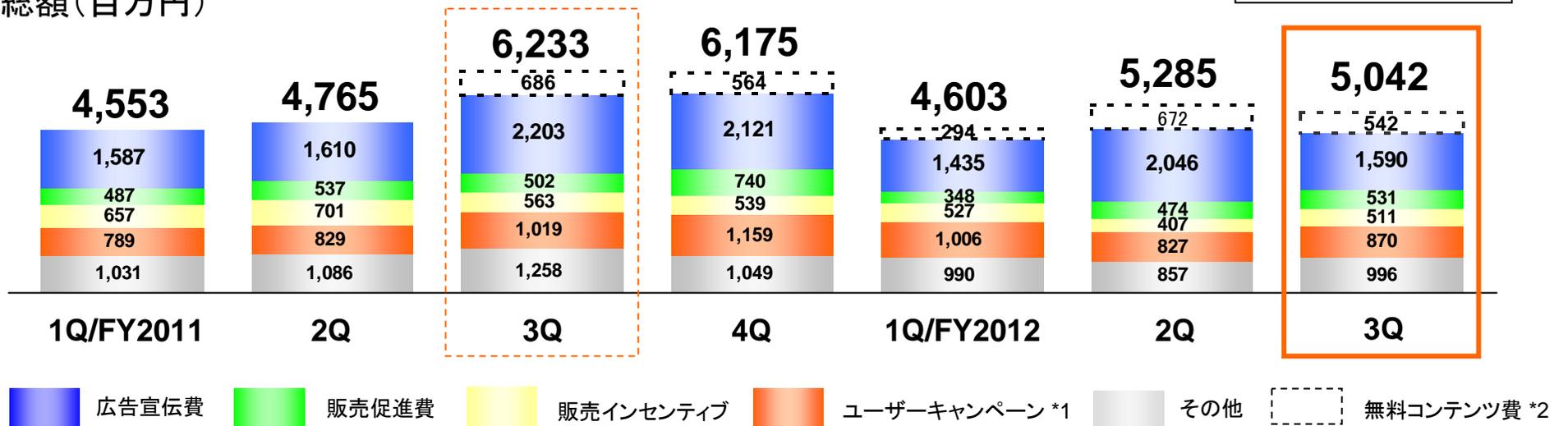
■ 基本料/件
 ■ レンタル会費/件
 ■ フラット視聴料/件
 ■ PPV視聴料/件
 ■ 自主コンテンツ収入/件

*1 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価。

*2 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益計上額。

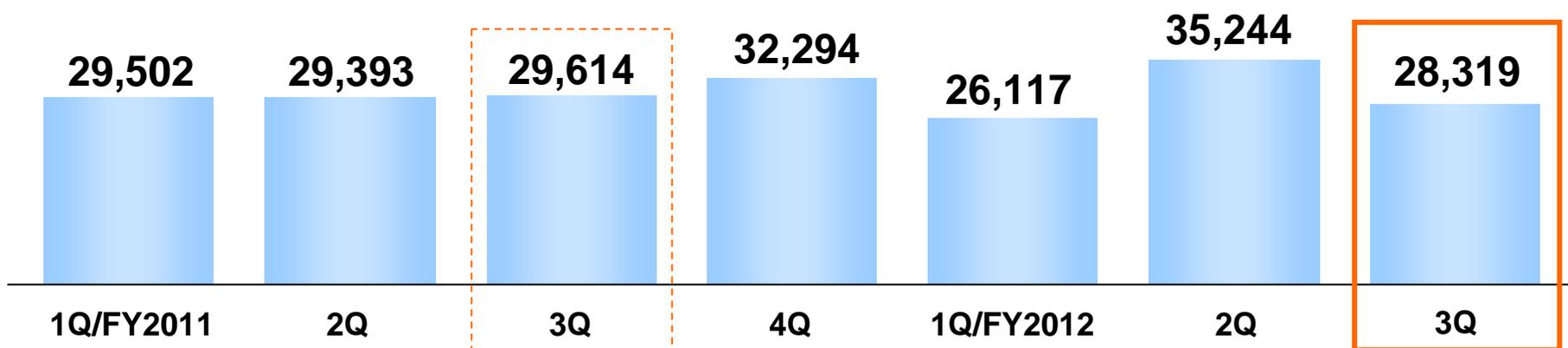
■ 総額(百万円)

同四半期比 19.1%減



■ 単価(円)*3

同四半期比 4.4%減



*1 「アンテナあげます!つけます!キャンペーン」、「いまなら割」等の各種キャンペーン費用。従来の販売促進費・販売インセンティブから独立して表示。

*2 「無料コンテンツ費」はBSスカパー!の番組制作費等。

*3 単価は、SAC総額(「無料コンテンツ費」は除く)を各期間の新規加入件数で割った数値。

今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

より魅力ある商品体系に

■ スカパー！（旧e2）ハイビジョンチャンネル増加（全69チャンネル中、35チャンネルがハイビジョン化）

2012/12/1～

スカイ・A sports+ (Ch. 250)

GAORA (Ch. 254)

MTV HD (Ch.323)

■ Jリーグ系セットのシンプル化と商品内容の充実

従来(13商品)	
【スカパー！】	
Jリーグセット	2,580円
JリーグセットMAX	3,280円
サッカーセット	5,500円
サッカーセットMAX	6,280円
【スカパー！プレミアムサービス】	
Jリーグセットプレミアム	2,980円
JリーグセットMAXプレミアム	3,280円
サッカーセットプレミアム	5,980円
サッカーセットMAXプレミアム	6,280円
J1ライブプレミアム	2,780円
Jリーグセット(標準画質)	2,780円
サッカーセット(標準画質)	5,780円
J1ライブ(標準画質)	2,580円
J2ライブ(標準画質)	1,580円



2/1以降の新商品(5商品)	
【スカパー！】	
JリーグMAX※	2,980円
サッカーMAX	5,980円
【スカパー！プレミアムサービス】	
JリーグMAXプレミアム※	3,280円
サッカーMAXプレミアム	6,280円
J2ライブプレミアム※	1,880円

※キャンペーン対象セット



祝！20周年

スカパー！Jリーグ **開幕無料** キャンペーン

期間：2/1～4/30

内容：加入翌月までの視聴料無料

今後のコンテンツ

- 無料放送で接触率・理解度向上を図り、充実コンテンツで本登録へ

2/2(土)～11(月・祝)の10日間無料放送の実施

- 春のスポーツ開幕シーズン到来

3/2 J1 3/3 J2 開幕 全試合生中継
※開幕節は無料放送



- ◆ Jリーグ関連試合・番組も多数放送！
- 2013 Jリーグヤマザキナビスコカップ
- 第93回天皇杯全日本サッカー選手権大会
- プレナスなでしこリーグ2013
- Jリーグマッチデーハイライト
- Jリーグゴールハイライト

3/2 ワールドベースボールクラシック



2013
WORLD
BASEBALL
CLASSIC

全39試合生中継！

メジャーリーグベースボール(MLB)

3月 オープン戦中継
4月 シーズン開幕

3/15開幕 F1グランプリ 2013
全セッション生中継

他、インディー・カー、
WTCC世界ツーリングカー選手権
NASCAR、スーパーバイク、
WRC世界ラリー選手権、MotoGP

3/29 プロ野球開幕
徹底放送！



開幕前: キャンプ情報番組多数
オープン戦: 2/23～3/24

BSスカパー! 開幕特番
「プロ野球の日(仮)」

第85回選抜高等学校野球大会も
生中継中心に全試合放送

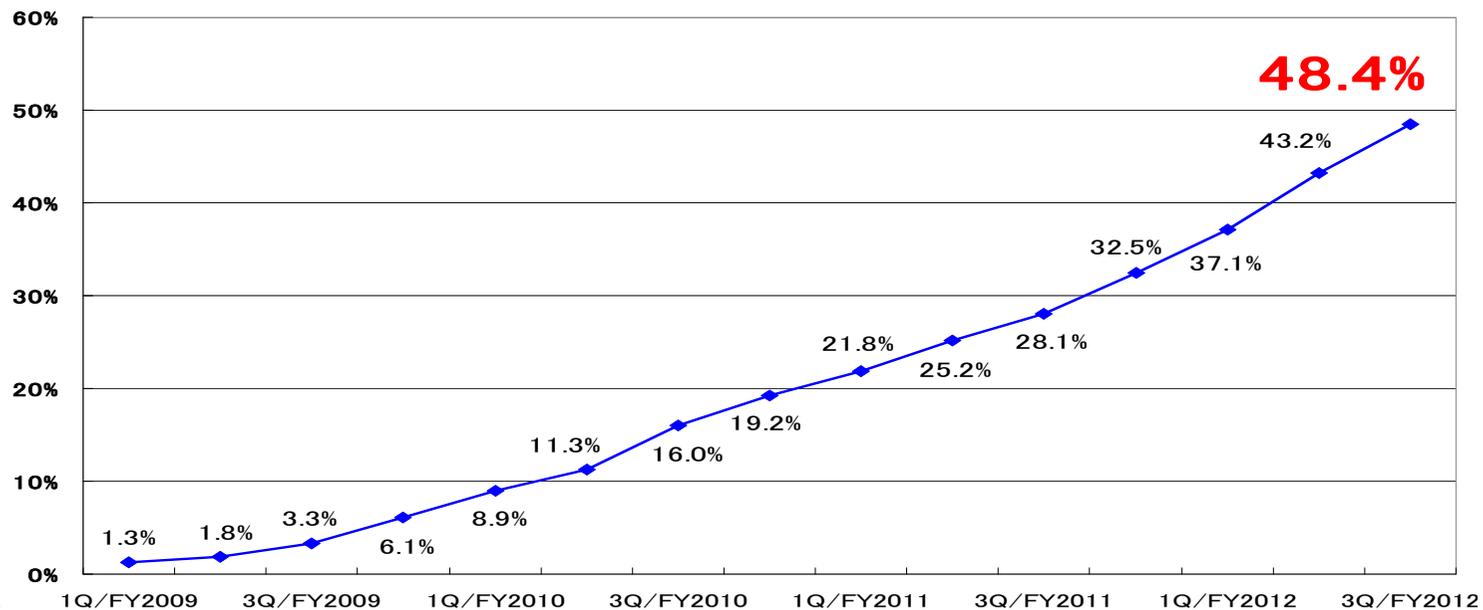
スカパー！プレミアムサービス H.264への移行に向けて

■ MPEG-2での標準画質放送終了(H.264化)の時期確定

- ◇ 2013年1月17日 … MPEG-2 方式 標準画質チャンネル終了時期リリース
- ◇ 2013年5月31日 … MPEG-2標準画質チャンネル、対象セット・パック申込終了
標準画質専用チューナー用ICカードでの新規・再加入受付終了
- ◇ **2014年5月31日 … MPEG-2 標準画質チャンネル 放送終了**
※加入者に向けた、チューナー交換施策(特別提供)の開始

■ ハイビジョンへの移行も順調 ハイビジョン化率は48.4%へ

【2012年HD移行件数】



2012年1月	9,523
2012年2月	19,754
2012年3月	34,790
2012年4月	16,854
2012年5月	22,487
2012年6月	26,130
2012年7月	31,649
2012年8月	33,900
2012年9月	32,092
2012年10月	29,460
2012年11月	25,609
2012年12月	24,981

4K/8K への取り組み

■ 4K/8K実現への検討

- 総務省主催『放送サービスの高度化に関する検討会』への参加
- NHK・民放・メーカー各社と連携し、4K/8Kの実現を推進

- 4K/8Kを実現する大容量の伝送には衛星利用が合理的
- MPEG-2標準画質チャンネル放送終了後の空きトラポンなどの衛星で実現可能

⇒検討会にて2012年度中に策定予定のロードマップに則り推進

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

次期Xバンド衛星通信への取り組み(1/2)

「Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業」に応札し、
代表企業として落札(2012/11/15)

■ 株式会社ディー・エス・エヌを設立(2012/12/19)

- 本事業の遂行を目的とする特別目的会社
- 日本電気(株)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)も出資参加
- 本事業衛星の調達・打ち上げ、地上施設の整備・維持管理等

■ PFI法に基づく特定事業として防衛省と契約締結(2013/1/15)

<今後の予定>

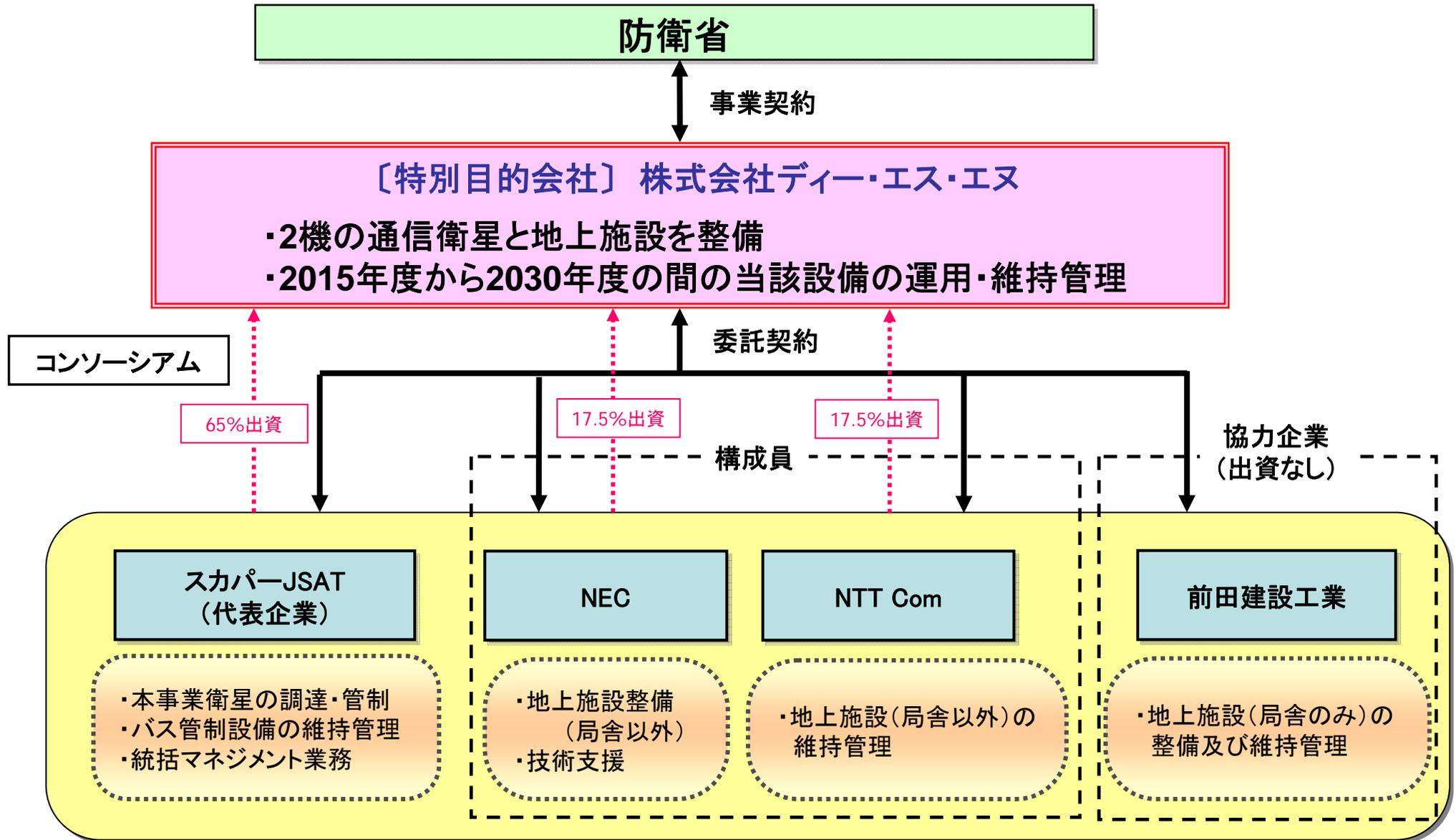
【1号機】

2015年12月	打ち上げ
2016年 3月	運用開始
2030年 4月	運用終了

【2号機】

2017年 1月	打ち上げ
2017年 3月	運用開始
2031年 3月	運用終了(事業終了)

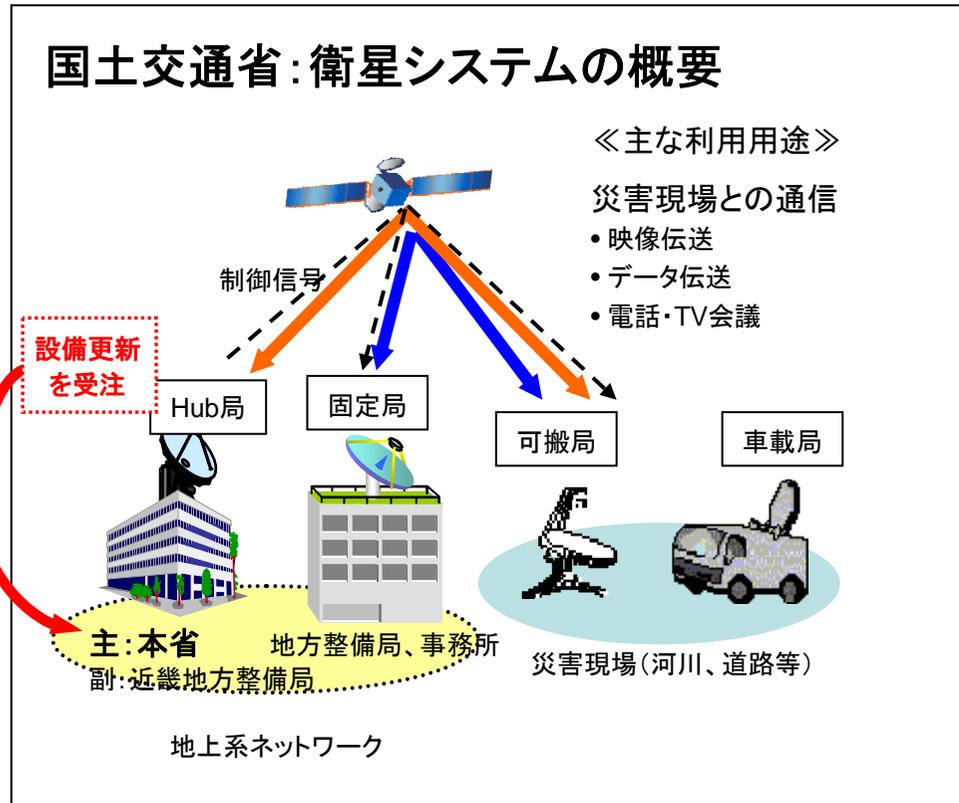
次期Xバンド衛星通信への取り組み(2/2)



国内市場への取り組み

■ 官公庁向けの取り組み

- 国土交通省の衛星システム更新に伴い、本省(基幹局)設備の更新契約を受注
- 今後、全国の出先機関に拡大を見込む



■ 報道機関向けの取り組み

- 映像伝送サービス「ポータリンク」の販売が拡大
- 報道機関向け回線提供が、堅調に推移

ポータリンクサービスの概要

ポータブル衛星IP通信サービス

ポータリンク

〈主な利用用途〉

- 報道番組制作の映像伝送の手段
- 陸路が寸断された震災現場の中継
- 台風などの土石災害現場の中継

[20kg: 最大9Mbps伝送]

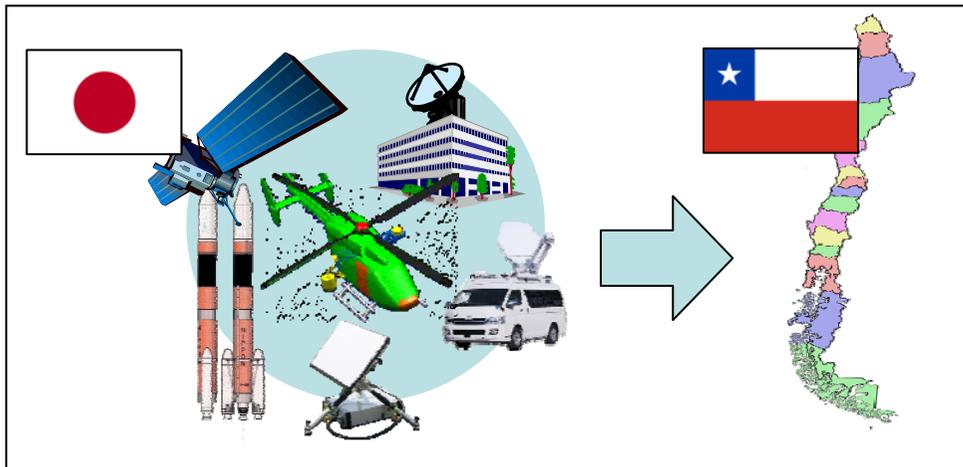
可搬端末

可搬式の超小型・軽量端末を使い、リアルタイムの映像伝送を実現

グローバル市場への取り組み

■ 衛星システムのパッケージ輸出

- チリ共和国をターゲットに、オールジャパン体制で、パッケージ型インフラ輸出として海外展開を目指す。
 - 衛星調達のコンサルティング
 - 衛星の製造・打ち上げ
 - 地上衛星通信設備の提供、設置
 - 運用技術供与等
- 阪神淡路大震災や東日本大震災などの災害で培った経験・ノウハウを活かし、同国の防災に資する。

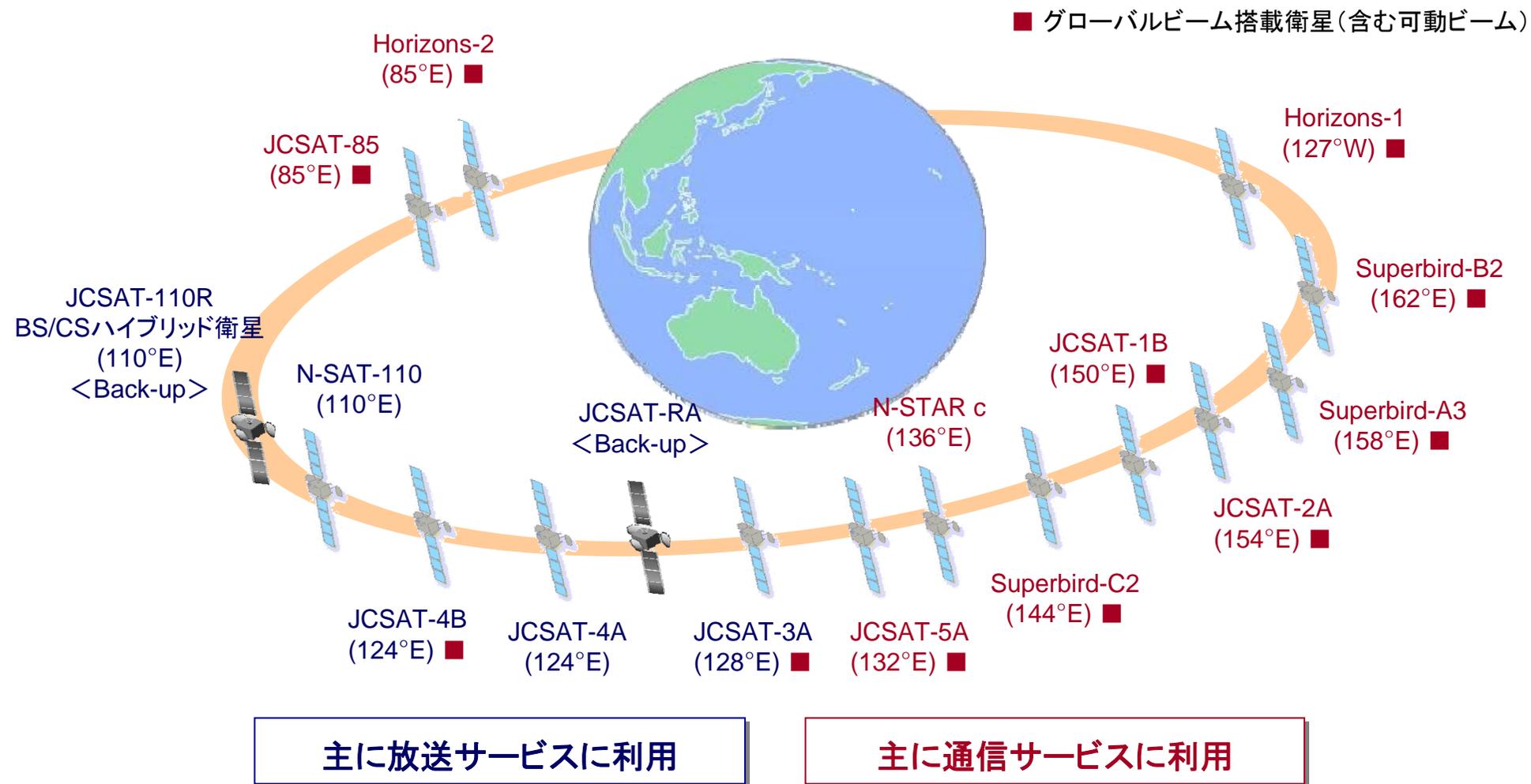


2012年12月4日、チリ共和国 エラスリス
運輸・通信大臣が来日、当社横浜衛星管制
センターを視察。

- 日本の衛星通信関連企業(8社)より、東日本大震災で活躍した衛星通信システムのデモ等を実施

(参考)衛星フリート図

北米上空からインド洋上空まで計16機の衛星を保有



本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部